

2026年9月期 第3四半期 決算補足資料

株式会社ミライロ（東証グロース:335A）



会社概要

1. 会社概要

p2

2. 2026年9月期 第3四半期決算ハイライト

p9

3. 参考資料

p21

ミライロについて①

代表取締役社長
垣内俊哉



企業理念



社 名	株式会社ミライロ
設 立	2010年6月
事 業	①障害者に向けたデジタルプラットフォーム「ミライロID」の運営 ②法人や自治体に向けたユニバーサルデザインのソリューション提供
拠 点	大阪本社（大阪市淀川区西中島三丁目8番15号） 東京支社（東京都品川区東五反田五丁目26番5号）

ミライロについて②

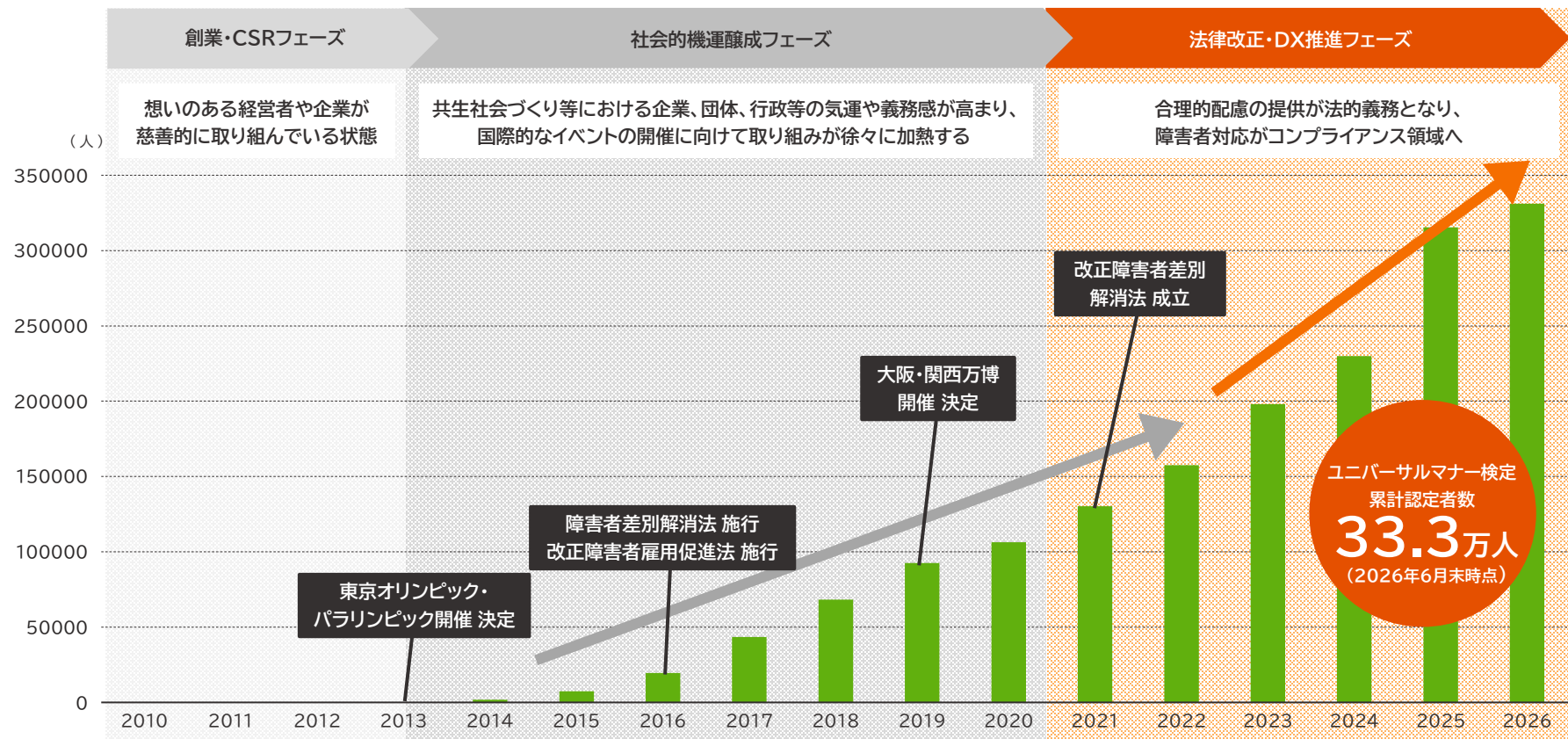
受賞歴	
2018年2月	Japan Venture Awards 2018 経済産業大臣賞 受賞
2018年2月	関西財界セミナー賞 2018 特別賞 受賞
2020年11月	J-Startup KANSAI 選定
2021年10月	デジタル社会推進賞
2022年1月	財界・経営者賞 受賞
2022年1月	経済界・金の卵発掘プロジェクト2021グランプリ 受賞
2022年10月	グッドデザイン賞 受賞
2022年11月	PRIDE指標 最高評価 ゴールド 6年連続受賞
2023年4月	知財功労賞 特許庁長官表彰 受賞
2023年6月	日本スタートアップ大賞2023 厚生労働大臣賞 受賞
2025年7月	日本DX対象2025 優秀賞 受賞
2025年12月	第5回日本サービス大賞 厚生労働大臣賞を受賞
2025年12月	EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2025 Japan 選考委員特別賞を受賞

関連団体
一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（ユニバーサルマナー検定の認定）
民間事業者による合理的配慮推進委員会（運営事務局）

主な株主(五十音順 2026年3月時点)
大阪市高速電気軌道株式会社
花王株式会社
京王電鉄株式会社
住友林業株式会社
西武鉄道株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
日本生命保険相互会社
株式会社三菱UFJ銀行
ヤマトホールディングス株式会社

株主数
5,404名(2026年3月時点)

ミライロについて③

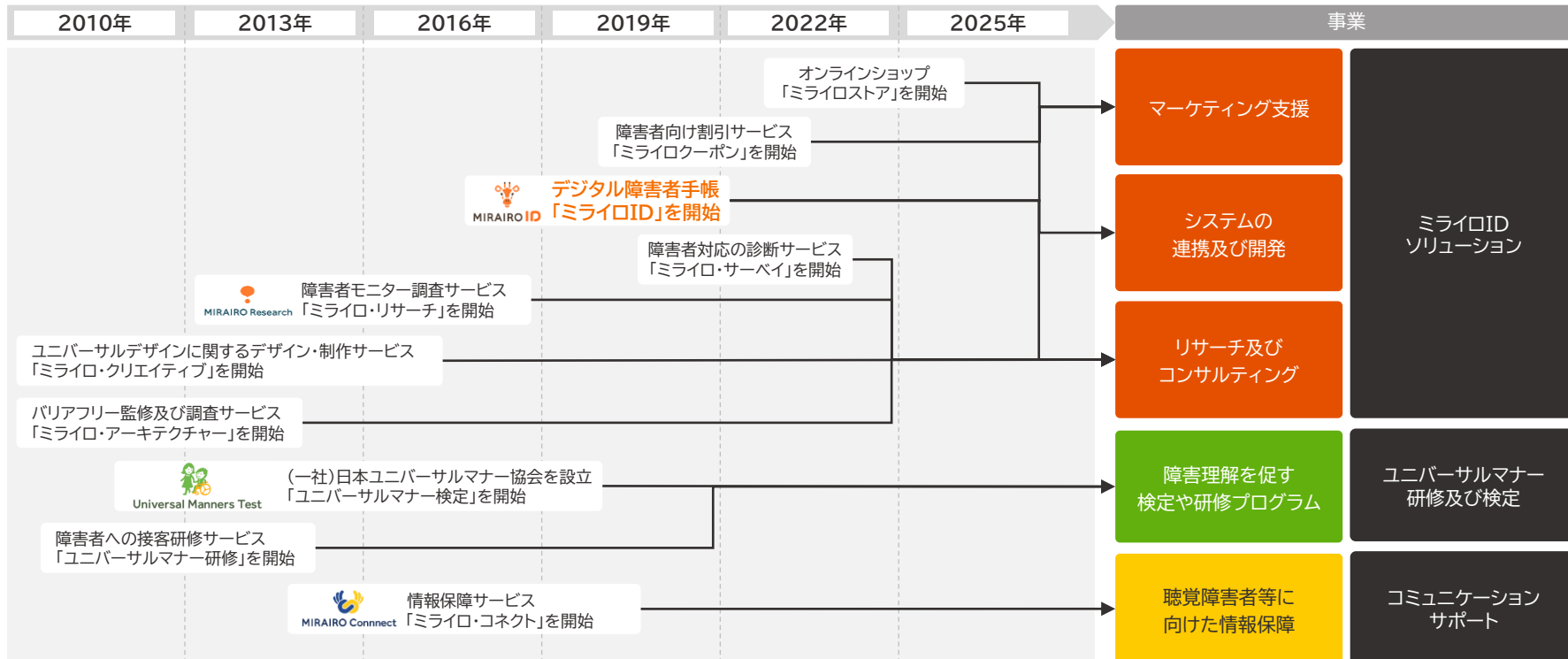




社会に存在する「環境・意識・情報」のバリアを解消し、価値に変える

ソリューションの変遷

創業以降、障害のある当事者視点を活かし、環境、意識、情報のバリア解消に繋がるソリューションを生み出し続ける。
ミライロIDをリリース後は、障害者プラットフォームを活かした事業モデルに集約を進め、より高付加価値な事業に変化。



ソリューションの特徴と価値

障害のある顧客や従業員の対応など、社会的なバリアの解消に向けた複合的なソリューションを保有。
ミライロIDによる障害者プラットフォームを軸に、専門的知見やシステムも駆使することで高い限界利益率を実現。

事業		特徴	提供価値
ミライロID ソリューション	マーケティング支援	・ 障害者プラットフォームへの広告やクーポンの配信、製品の販売などが可能 ・ クローズドマーケットに対して、独自の割引設定やパーソナルデータを活かしたアプローチが可能	・ 企業姿勢の発信やブランディング ・ 潜在的な市場や顧客の新規開拓・売上増
	システムの 連携及び開発	・ デジタル化された障害者手帳情報を用いたAPI連携や連携に向けたシステム開発を実施 ・ 従来紙での対応が必須であった障害者情報の認証や割引対応、連携によるアプリ間送客も可能	・ オペレーションコストの低減 ・ デジタルを用いた法令遵守対応
	リサーチ及び コンサルティング	・ 国内最大規模の障害者データを活かした定量・定性的なリサーチやコンサルティングを実施 ・ 法定対応に対する現状把握のためのサーベイや環境整備に向けたコンサルティング対応	・ 潜在的なニーズ把握 ・ 事前的改善措置 ※1(環境整備)への対応
ユニバーサルマナー 研修及び検定	障害理解を促す検定 や研修プログラム	・ 障害理解において国内最多となる33.3万人の認定者数※2と高い満足度の検定プログラム ・ 業界特化型など独自のプログラムを開発 ・ eラーニングや現地派遣など多様な受講形式	・ 行動変容によるCS向上や雇用率の改善 ・ 法令違反や風評被害等のリスク低減
コミュニケーション サポート	聴覚障害者等に 向けた情報保障	・ 遠隔での手話通訳サービスや手話・文字通訳者の現地派遣など、多様な情報保障サービスを提供 ・ 専門性を有する多数の手話通訳者や文字通訳者が在籍	・ 聴覚障害者の仕事のパフォーマンス向上 ・ 事前的改善措置 ※1(環境整備)への対応

※1 事前的改善措置とは、施設のバリアフリー化、意思表示やコミュニケーションを支援するためのサービスや人的支援、情報アクセシビリティの向上など、環境の整備のことです。

※2 当社調べ。人数は2026年6月時点の累計認定者数。

2026年9月期 第3四半期決算ハイライト

1. 会社概要

p2

2. 2026年9月期 第3四半期決算ハイライト

p9

3. 参考資料

p21



2026年9月期 第3四半期 業績ハイライト

2026年9月期（2025年10月～2026年6月）における実績。大型案件の受注が不足したことによる売上高の未達が影響したことに加えて、成長投資に向けた体制強化（採用、新規事業、システム投資）等の先行投資が利益を押し下げた結果、売上高、売上総利益、営業利益はいずれも前年同期を下回る結果。

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	四半期純利益
606百万円	382百万円	70百万円	71百万円	49百万円
前年同期比 96.2%	前年同期比 91.1%	前年同期比 64.1%	前年同期比 81.7%	前年同期比 92.5%

業績概要
トピックス

- ・ 国土交通省による「鉄道介助申請の標準化調査業務」へ参画。
- ・ 障害者雇用の質的向上を目指す障害者人材紹介サービス「ミライロ・キャリア」を開始。
- ・ 法定雇用率の引き上げに伴う企業のニーズに即した「ユニバーサルマナー検定(雇用)」を提供開始。
- ・ 国土交通省のような案件はありながら、その他の大型案件の受注数の不足が売上高の未達につながった。
- ・ 成長投資に向けた体制強化が短期的な利益押し下げ要因となった。

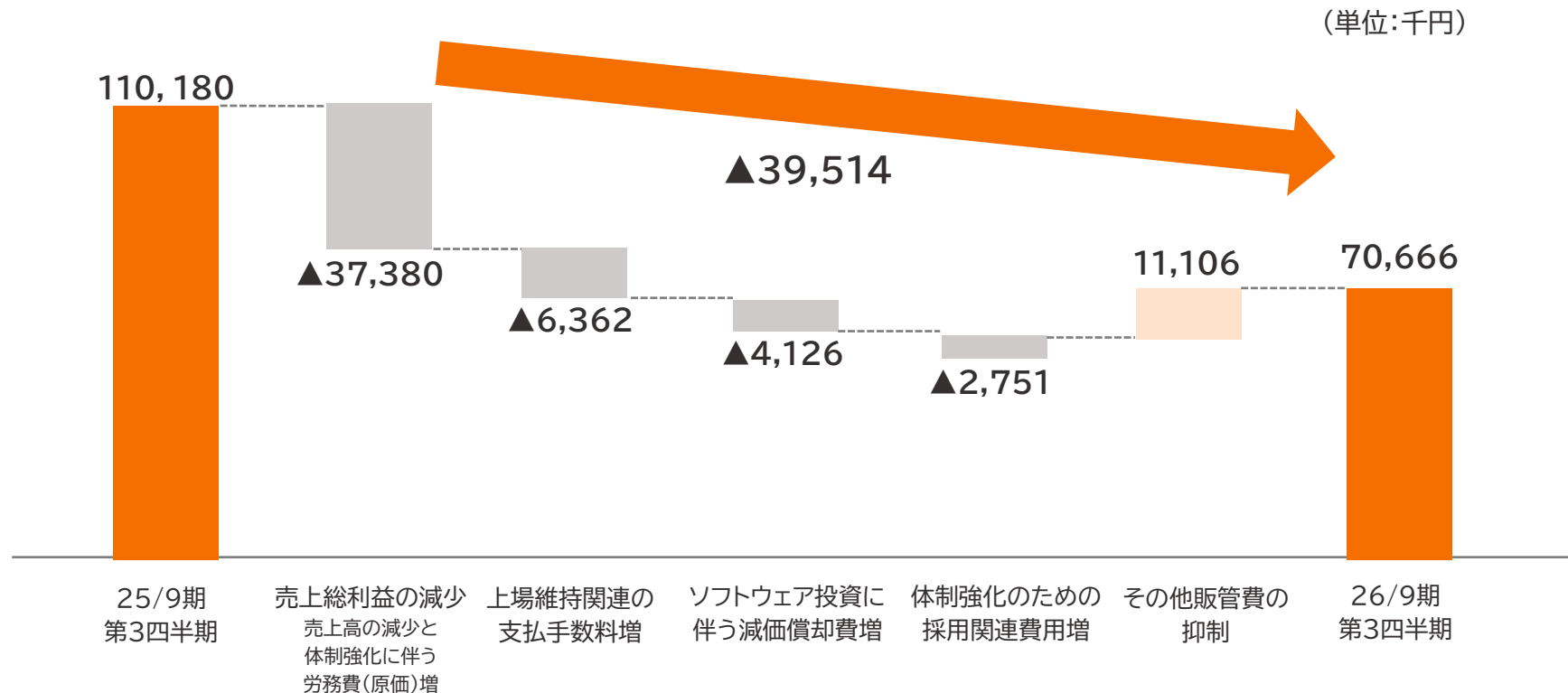
損益計算書(2026年9月期 第3四半期)

売上高は前年同期比3.8%減。ユニバーサルマナー研修及び検定事業およびコミュニケーションサポート事業の減収が響いた一方、ミライロIDソリューション事業は増収。高利益率事業であるユニバーサルマナー研修及び検定の売上減少により売上総利益は同8.9%減となり、体制強化のための採用関連費用やソフトウェア投資により販売費及び一般管理費も増加したことで、営業利益は同35.9%減。

(単位:千円)	2025年9月期 (第3四半期)		2026年9月期 (第3四半期)		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	630,334	100.0%	606,231	100.0%	96.2%
ミライロIDソリューション	199,603	31.7%	205,708	33.9%	103.1%
ユニバーサルマナー研修及び検定	284,331	45.1%	257,141	42.4%	90.4%
コミュニケーションサポート	146,400	23.2%	143,381	23.7%	97.9%
売上原価	210,775	33.4%	224,052	37.0%	106.3%
売上総利益	419,559	66.6%	382,179	63.0%	91.1%
販売費及び一般管理費	309,378	49.1%	311,512	51.4%	100.7%
営業利益	110,180	17.5%	70,666	11.7%	64.1%
経常利益	87,036	13.8%	71,082	11.7%	81.7%
四半期純利益	53,216	8.4%	49,204	8.1%	92.7%
EBITDA(営業利益+減価償却費+敷金償却)	132,587	21.0%	97,199	16.0%	73.1%

営業利益の増減要因

売上減少の影響と、事業成長及び管理体制の強化に向けた人員確保(採用)や上場維持関連維持コストの発生、ソフトウェア投資に伴う減価償却費が増加した結果、営業利益は前年同期比で39,514千円の減少。



貸借対照表(2026年9月期 第3四半期)

ミライロIDの機能拡張に伴うシステム投資によりソフトウェアは前期末比14,058千円増加。借入金の返済が進み有利子負債は同11,061千円減少し、四半期純利益の計上等により純資産は同49,223千円増加、自己資本比率は75.2%から78.5%へ3.3ポイント改善。

(単位:千円)	2025年9月期	構成比	2026年9月期 (第3四半期)	構成比	前期末比増減
流動資産	1,025,478	87.5%	1,038,406	87.6%	+12,927
現金及び預金	904,017	77.1%	925,291	78.0%	+21,273
売掛金	97,947	8.4%	83,284	7.0%	△14,662
固定資産	146,500	12.5%	147,363	12.4%	+863
ソフトウェア	71,710	6.1%	85,769	7.2%	+14,058
繰延税金資産	35,378	3.0%	22,905	1.9%	△12,472
資産合計	1,171,979	100.0%	1,185,770	100.0%	+13,791
流動負債	237,992	20.3%	213,621	18.0%	△24,371
短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金	109,748	9.4%	109,748	9.3%	±0
固定負債	52,063	4.4%	41,003	3.5%	△11,060
長期借入金	51,278	4.4%	40,217	3.5%	△11,061
純資産	881,923	75.3%	931,146	78.5%	+49,223
負債・純資産合計	1,171,979	100.0%	1,185,770	100.0%	+13,791
(自己資本比率)	75.2%	-	78.5%	-	+3.3ポイント

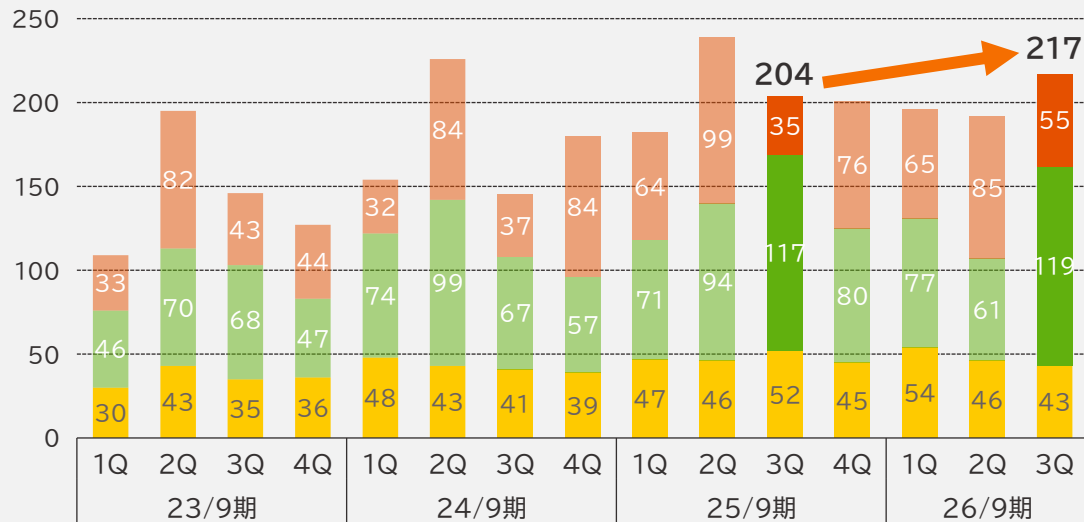
四半期ごとの業績推移

第3四半期単体では、「ユニバーサルマナー研修及び検定事業」および「ミライロIDソリューション事業」の増収により、前年同期比106.4%の着地。

売上高

単位:百万円

13百万円



■ ミライロIDソリューション ■ ユニバーサルマナー研修及び検定 ■ コミュニケーションサポート

■ミライロIDソリューション

- 導入事業者数:4,298事業者
- ユーザー数 :65.5万人
- 月間アクティブユーザー数:21.7万人
- 国土交通省による「鉄道介助申請の標準化調査業務」へ参画

■ユニバーサルマナー研修及び検定

- 累計認定者数33.3万人(2026年6月末)
- 法定雇用率の引き上げに伴う企業のニーズに即した「ユニバーサルマナー検定(雇用)」の提供を開始。

■コミュニケーションサポート

- 電話リレーサービス&ヨメテルの相談会を開催。

トピックス① 新規事業「ミライロ・キャリア」を開始

社会背景



- ・ 2026年7月、障害者の法定雇用率が2.5%から2.7%へ引き上げ。
- ・ 「数」だけではなく「質」向上に向けた事業主の責務が明確化。
- ・ 身体障害者の高齢化により、障害者の大量退職時代を迎える。
- ・ 企業側に精神障害者を雇用するための受け入れのノウハウや知見が蓄積されておらず、早期離職等に繋がっている。

ミライロ・キャリアの特長

ミライロIDというユーザー基盤

大規模かつ信頼性も担保



当事者視点の見極め

戦力化を見据えたマッチング



職場環境改善の豊富な実績

採用から定着支援まで



65万人以上のユーザー基盤を持つ「ミライロID」をベースに、障害者のある当事者の視点から求職者と求人企業のマッチングを行う。企業側に対しても、職場の風土形成や理解促進をするための研修、環境改善、情報保障支援など、多面的、多層的なソリューションを提供することが可能。

トピックス② Jリーグで新たに8チームが「ミライロチケット」を一斉導入

オンライン上でいつでも障害者割引チケットが購入可能に。

Jリーグにおいて、26/27シーズンから新たに8つのチームが「ミライロチケット」を一斉導入することが決定。

■今回新たに導入するクラブ・チーム(五十音順)

FC大阪／FC東京U-21／カマタマーレ讃岐／
ガンバ大阪U-21／ザスパ群馬／東京ヴェルディU-21／
福島ユナイテッドFC／松本山雅FC

■すでに導入済みのクラブ・チーム(五十音順)

FC東京／FC琉球／柏レイソル／ガンバ大阪／
ツエーゲン金沢／東京ヴェルディ／栃木SC／
日テレ・東京ヴェルディベレーザ／レノファ山口FC



トピックス③ 障害者雇用の現場に特化した「ユニバーサルマナー検定(雇用)」を提供開始

背景と内容

- ・ 法定雇用率の上昇により、障害者の雇用は特例子会社への集約から各事業部門・バックオフィスへの直接配属へとシフト。
- ・ 新規雇用の過半数を占める精神障害者・発達障害者への対応力向上が、あらゆる企業にとって急務。
- ・ 身体障害の基礎知識に加え、現場が対応に悩みやすい精神障害・発達障害・知的障害への理解と合理的配慮のコンテンツを拡充。
- ・ 「どう接すればよいか分からない」という現場の不安を解消し、明日から使える対話と環境調整の技術を習得できる。
- ・ 自社の課題や重視する障害種別に応じてカリキュラムを柔軟にカスタマイズでき、業務スケジュールに合わせた無理のない全社展開が可能。
- ・ 障害者のキャリア形成プラットフォーム「ミライロ・キャリア」が目指す、企業側のソフト(意識・文化)面の環境整備を実現するコア・ソリューションと位置付け、クライアント企業に継続的に伴走支援。



2026年9月期の重点施策

ミライロIDのユーザー数の拡大



自治体への発信を強化することをとおして、障害者への認知拡大とユーザー数の増加を図る。

業種別の検定プログラムの展開



ユニバーサルマナー検定を基に、各業界に特化したコンテンツの構築と横展開を行う。

大型案件の受注強化



営業体制のさらなる強化による大型案件の受注と迅速な納品体制を強化。

行政案件の受注強化



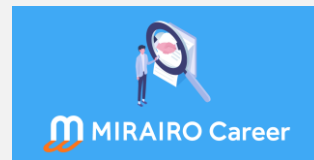
官公庁や地方公共団体のプロジェクト案件に対する参画や落札をとおして大型案件の獲得およびインフラ構築の地位を確立。

ミライロID Globalの開始



国内の障害のある外国人旅行者の声を導入事業者を通して収集し、グローバル展開を見据えたサービス開発を実施。

ミライロ・キャリアの開始



法定雇用率の引き上げに伴うニーズ拡大に対して、人材サービス・ユニバーサルマナー・職場環境を改善するソリューションを提供。



2026年9月期 業績予想の修正

大型案件の受注不足による売上高の未達に加え、成長投資として実施した体制強化やシステム投資等の先行投資が利益を押し下げたことから、業績予想を修正。当社事業は限界利益率が高い収益構造であるため、売上高の未達に伴い利益の落ち込み幅(増減率)が大きくなる構造。今後は基幹事業の拡大と投資成果の収益化を進めることで、強固な収益基盤の確立を推進する。

(単位:百万円)	2026年9月期		期初予想 対 修正予想	
	期初予想	修正予想	増減額	増減率(%)
売上高	940	810	△130	△13.8
営業利益	200	90	△110	△55.0
経常利益	201	90	△111	△55.2
当期純利益	135	60	△75	△55.6

業績予想修正の要因と中長期の成長に向けた取り組み

	内容	今後の取り組み
1 大型案件の獲得状況	前期は大阪・関西万博関連をはじめとする1,000万円超の複数の大型案件が業績に寄与。当期は前期の減少分を補う新規の大型案件の創出を進めたものの、売上計上までには至らず、当初計画を下回る見込み。一方で、大型案件を除く主要サービスでは、売上高、顧客数ともに前期を上回って推移しており、事業基盤は着実に拡大。	主要サービスにおける顧客基盤の拡大を継続するとともに、大型案件の創出に向けた営業活動を強化。あわせて新規事業の収益化を進め、特定案件への依存度を低減した安定的な成長基盤を構築する。
2 事業成長に向けた体制強化	既存サービスの成長に加え、新規事業・新たなソリューションを中長期の収益の柱へ育成するため、サービス提供体制の強化を進行。これに伴い、採用関連費用や人件費を中心とした先行投資費用が増加し、短期的には利益を押し下げる要因となる。	新規事業の事業化を加速するとともに、既存事業とのシナジーを創出し、新たな収益の柱を育成する。あわせて採用した人材の早期戦力化や既存事業の生産性向上を進める。先行投資の成果を着実に売上・利益へ結び付け、中長期的な利益成長につなげる。

成長に向けた投資

参考資料

1. 会社概要

p2

2. 2026年9月期 第3四半期決算ハイライト

p9

3. 参考資料

p21

障害者と社会を繋げるライフプラットフォーム「ミライロID」



障害者手帳を「紙」から「デジタル(ミライロID)」へ

障害者の移動や生活をもっと便利に、もっと自由に。



手帳代替



情報配信



ECストア



クーポン



マップ



チケット



情報連携

事業者の課題



292種類のフォーマット

事業者・障害者の課題



紛失や個人情報の漏洩リスク

障害者の課題



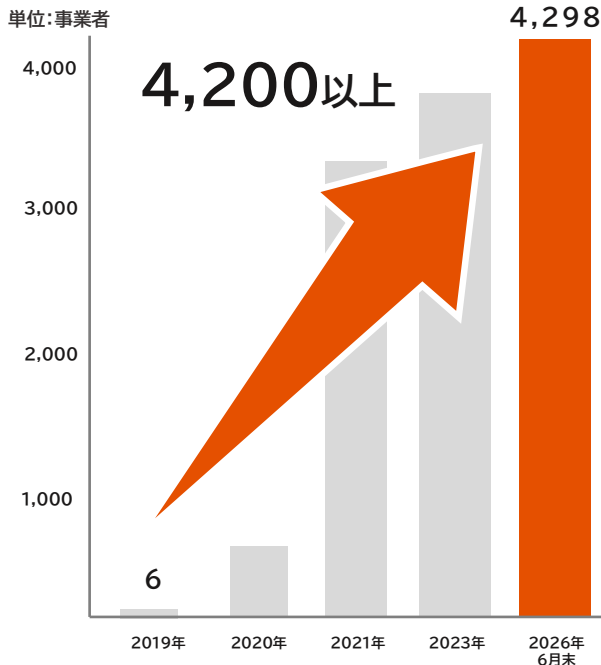
手帳提示による心理的負担

社会との連携により広がる共感の輪



マイナポータル連携により公的な信頼を得られたこと等がきっかけとなり、鉄道をはじめとする障害者割引を有する企業での導入が急拡大。継続的に官公庁とも連携し、アプリの認知を拡大。

▼導入事業者数の推移



▼ミライロIDのこれまでの歩み

- 18年7月 障害者手帳の電子化に向けた検討を開始
- 19年1月 国土交通省:交通事業者への現物確認不要の通知が発出
- 19年7月 ミライロIDのiOS、Android版を同日リリース
- 20年6月 内閣官房:マイナポータルとミライロIDが連携
- 20年6月 内閣官房:事業者へのミライロIDの導入推奨の通知が発出
- 20年10月 鉄道局:ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
- 21年3月 JR各社を含む全国鉄道会社123社がミライロIDを採用
- 21年4月 自動車局:ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
- 21年7月 障害者割引価格のオンラインチケットの提供を開始
- 21年7月 内閣官房:オンライン予約の障害者対応を要請する通知が発出
- 21年10月 デジタル社会推進賞(デジタル庁)を受賞
- 22年8月 駐車場精算機とミライロIDが連携
- 23年6月 「日本スタートアップ大賞2023」(経済産業賞)にて厚生労働大臣賞を受賞
- 24年1月 ミライロIDにて、オンラインストアの提供を開始
- 25年3月 厚生労働省:全国の自治体に向け、障害者への周知を要請する通知が発出
- 25年7月 「日本DX大賞2025」(日本DX大賞実行委員会)にてSX部門 優秀賞を受賞
- 25年12月 「第5回日本サービス大賞」(公益財団法人日本生産性本部)にて厚生労働大臣賞を受賞

ミライロIDのユーザー数と特徴

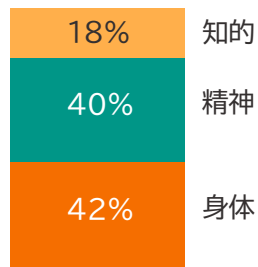
2026年にユーザー数は65万人を突破し、毎月約1万人のペースで増加を続ける。

障害者の人口統計と比較して20～50代のユーザーが多い傾向にあり、外出頻度が高く、企業に勤める障害者の割合も高い。

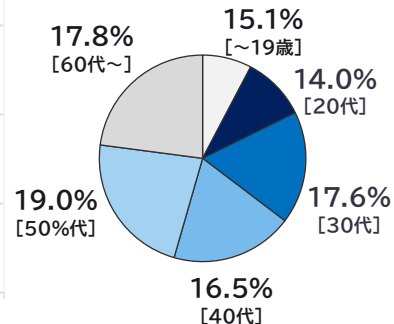
▼ユーザー数の推移



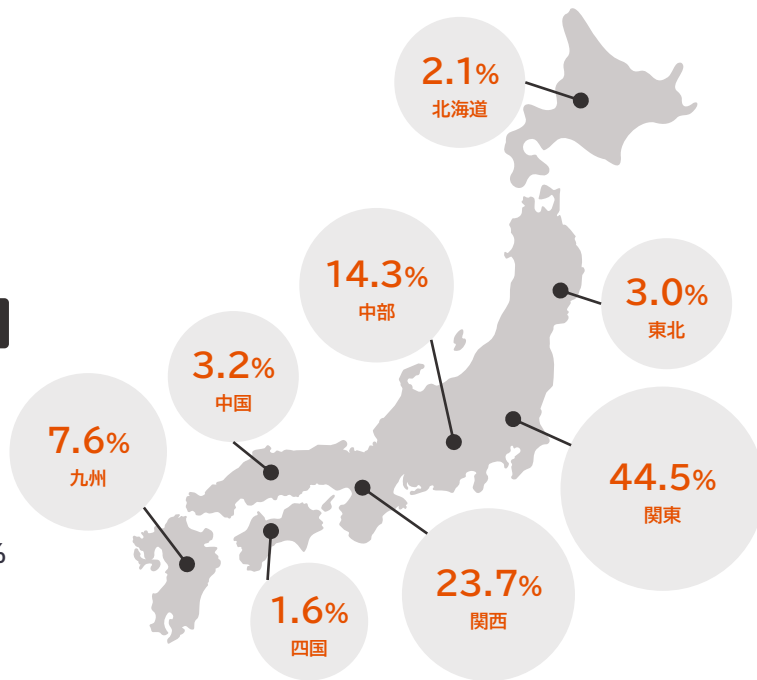
手帳種別



年齢



エリア分布(最終利用地域)



ミライロIDの3つの強み

類似アプリが存在しない 大規模な障害者 プラットフォーム

- マーケティング活用の広がり
- 先行した行政や企業との連携、
特許による参入障壁の高さ

デジタル上のあらゆる 障害者対応の 必須ツール

- 障害者の本人認証の簡素化
- 障害者割引決済の円滑化

創業来培ってきた 専門的ソリューション との連動

- 専門的知見と当事者データ
に基づくコンサルティング
やシステム開発

ミライロIDソリューションについて

デジタル障害者手帳「ミライロID」のプラットフォームやデータベースを基盤としたソリューションを提供。
アプリによる直接的サービス提供、システム連携によるサービス提供、データ等を基にしたコンサルティングを実施。



マーケティング支援の取り組み事例



- 1 株式会社ナイキジャパン
ユーザー限定の先行販売や
クーポン提供



- 2 株式会社日本HP
障害者手帳特別割引の適用



- 3 株式会社ファミリーマート
創立40周年に合わせた
クーポン提供



- 4 ロイヤルホールディングス株式会社
「ROYAL DELI」の
ミライロストアへの出品



- 5 株式会社ジンズ
ECサイトと店舗での
クーポン提供



- 6 WHILL株式会社
レンタルや購入時の
クーポン提供

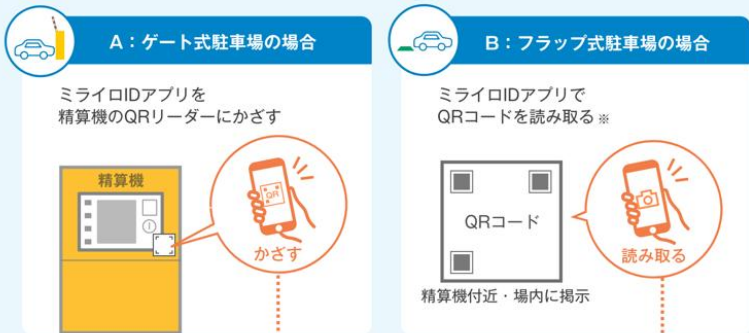
多くの企業がDE&Iやサステナビリティも意識したマーケティングやブランディングへの取り組みを強化

システムの連携及び開発の事例



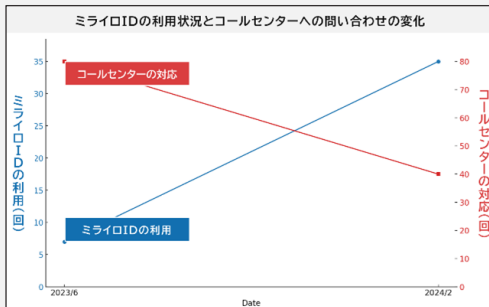
障害者手帳の情報を保有している利点を活かし、障害者割引に関する「決済」の円滑化を実現。ミライロIDと精算機管理サーバーとの連携により、障害者手帳情報を自動適用し、割引料金での支払を可能に。

ミライロIDと駐車場精算機の連携イメージ



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

- これまで目視確認や遠隔で確認をすることで起きていた不正利用の防止や対応時間の削減
- ミライロIDの利用増加に伴い、コールセンターへの問い合わせは50%減少
- 自治体からの希望する声も増加しており、他の駐車場管理事業者との連携も進行中



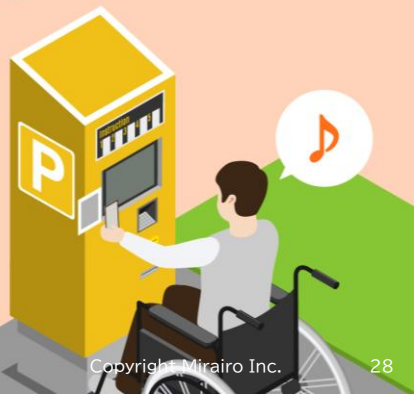
BEFORE

係員がいないと
障害者割引を
受けられない



AFTER

無人でも
障害者割引を
受けられる



システムの連携及び開発の事例

アプリ間の連携により、障害者割引に対応したチケット購入などの決済における課題の解消、独自の割引適用によるマーケティングやブランディング活用、職場における障害者情報の管理の円滑化など、多岐にわたる活用事例を創出。



- JR四国のチケットアプリ「しこくスマートえきちゃん(スマえき)」とミライロIDの連携を実現。
- アカウント連携をすることで、**障害者割引を適用したきっぷの購入が可能に**。

鉄道事業者初！ミライロIDとの連携によりJR四国のチケットアプリで障害者割引きっぷの購入が可能に！2024年11月18日よりサービスを開始します

2024.11.13(水) 米田ら、ミライロID



- デジタル社員証の社員情報とミライロIDの障害者情報の紐づけにより、働きやすい職場環境づくりを実現。
- 障害のある社員への**福利厚生や職場での孤立化の防止につながる取り組み**へ。

デジタル障害者手帳「ミライロID」と社員IDを連携し、障害者手帳の効率的な管理を実現！一障害のある社員が働きやすい環境づくりを推進します

2024.07.20(水) 新田ら、ミライロID



- 日本コカ・コーラが提供する公式アプリ「Coke ON」とミライロIDの連携を実現。
- アカウント連携をすることで、**「Coke ON 障がい者割引」の適用が可能に**。



リサーチ及びコンサルティング

ミライロIDの障害者ネットワークを活かしたリサーチ及びコンサルティングを提供。
製品やサービスの開発、市場調査など、目的や規模感に応じた様々な調査が可能。

▼サービスイメージ



在籍モニター例

肢体不自由

- 程度 (下肢障害、上肢障害など)
- 状況 (等級・先天性／後天性など)
- 補助器具 (手動／電動車いす・装具など)

視覚障害

- 程度 (全盲・弱視など)
- 状況 (等級・先天性／後天性など)
- 補助器具 (白杖、半眼鏡、盲導犬など)
- 利用機器 (iPhone / Android など)

聴覚障害

- 程度 (全ろう・難聴など)
- 状況 (等級・先天性／後天性など)
- 補助器具 (補聴器、聴導犬など)
- 手段 (手話、口話、筆談など)

▼リサーチ手法

定量調査(Webアンケート)

数値や量で表せるデータを集計して分析する方法



定性調査(インタビュー・ワークショップ等)

言動などの質的データを集計して分析する方法



障害者の声を企業や社会へ届けると同時に、障害者の社会参画に貢献

ローソン銀行ATMが
もっと便利に
なりました！

An illustration of a man wearing a red cap and blue overalls, and a woman with dark hair, both smiling and interacting with a blue Lawson Bank ATM. The man is holding a small gear. The background shows a stylized city skyline at the bottom.

-
- Five pairs of socks hanging on a rack, each with a different color (grey, yellow, red, orange, black) and a small tag. The tags are identical and feature the text "みんなのつしほ" and "みんなのつしほ" (Everyone's Socks).

-
- 旧パッケージ** **新パッケージ**
- 容器**
- 紙箱 (紙造)**
- 重量・体積の削減
- 保管スペースの削減
- 取り扱い時間の削減

-

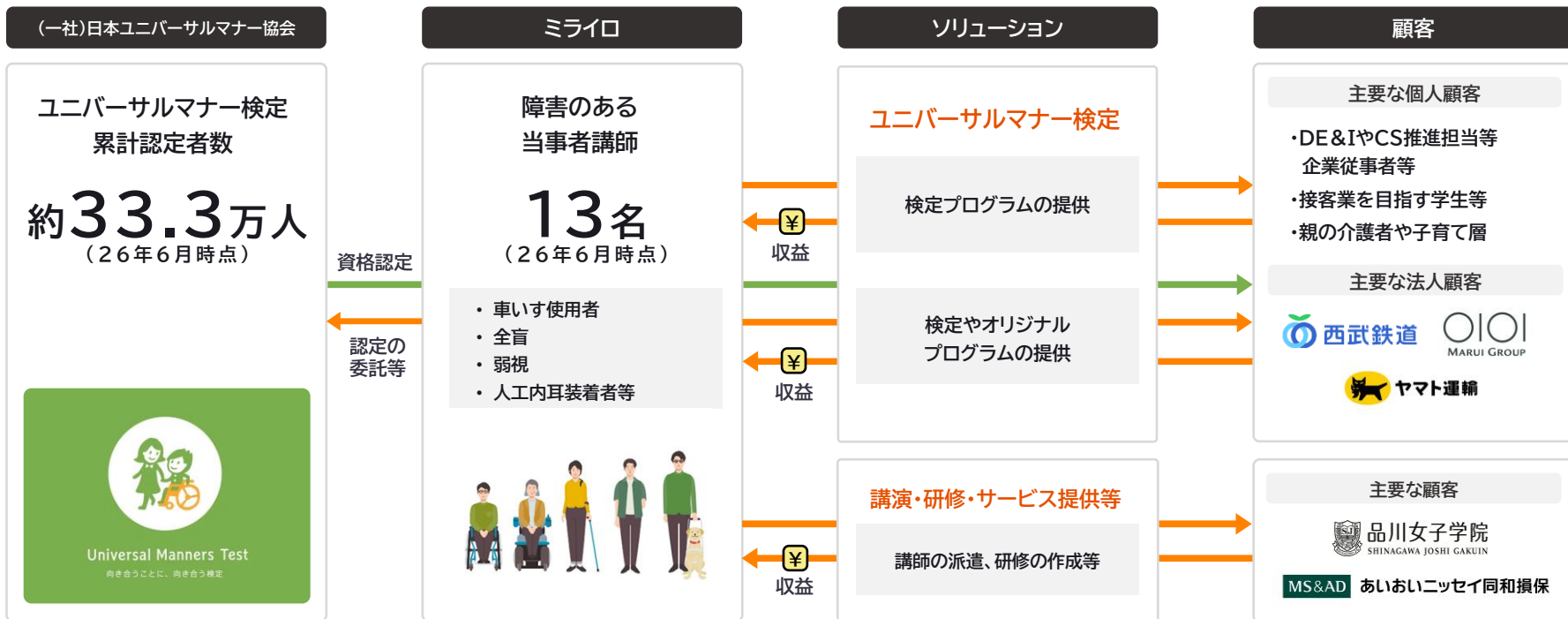
-

-

- 31

ユニバーサルマナー研修及び検定について

障害のある当事者の視点から、障害者など多様な方々に対する理解促進や対応方法のレクチャーを実施。法律や当事者心理の理解による接客時や職場のリスク軽減に加えて、資格を企業姿勢の発信としても活用が可能。プログラムや講師への高い満足度により、検定売上の6割が定期発注(過去2事業年度以内の継続発注)によるリピート売上。



〔Y〕 収益分類:①スポット収益(単発講演、プログラム開発費等) ②定期発注型収益(新入社員や新入生、管理職向けの検定等)

ユニバーサルマナー検定について

障害理解の促進と行動変容を促すプログラム

- 「ユニバーサルマナー」とは、多様な方々へ向き合うためのマインドとアクションのことを指す当社が作成した造語
- 「ハードを変えることができなくても、ハートは今すぐ変えられる。」というコンセプトを軸に、障害者や高齢者など、多様な顧客や従業員との向き合い方を伝えるプログラムを展開
- 検定プログラムは、3級～1級のカリキュラムに加えて、業界や職種に合わせたオリジナルのプログラム作成も実施

満足度 98% ※

認定者数 33.3万人
(26年6月時点)

導入事業者数 約1,220社
(26年6月時点)



ユニバーサルマナー検定3級の概要

ユニバーサルマナーとは／人との違い／障害の社会モデル／障害者や高齢者の生活・心理／基本姿勢



課題を解決するには自身の側に
変化が必要なのに気づく



障害のある当事者から多様な
人々との向き合い方を学ぶ



一歩踏み出すことの不安を
取り除き心のブレーキを外す



違いの理解が進み、
高い確率で行動変容が起きる

目的	社内の意識醸成と行動変容
時間	1.5時間
形式	eラーニング／オンライン／対面
講師	障害のある当事者講師



※ 個人向けユニバーサルマナー検定の受講者約4,000名(2024年4月～2025年3月受講者)に対する当社アンケートにおける満足度の回答結果

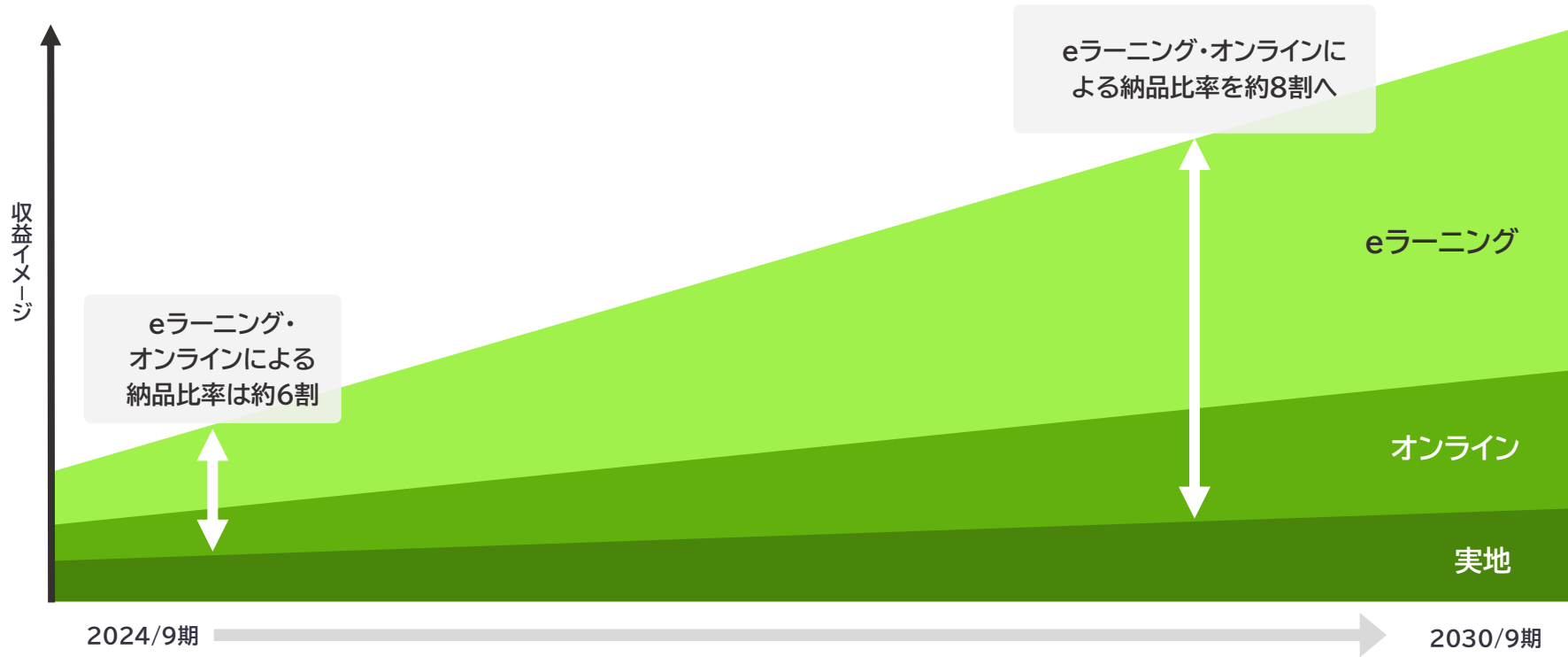


ユニバーサルマナー検定の主な導入事業者 ※2025年12月時点

銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社りそなHD 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ	メーカー トヨタ自動車株式会社 三菱自動車株式会社 花王株式会社 コクヨ株式会社 株式会社ワコール	小売 株式会社三越伊勢丹HD 株式会社丸井グループ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 株式会社ローソン 株式会社ファミリーマート	教育機関 学校法人上智学院 学校法人立命館 聖心女子大学 成蹊大学 学校法人ロイヤル学園
生命保険 第一生命保険株式会社 日本生命保険相互会社 明治安田生命保険相互会社 住友生命保険相互会社 大同生命保険株式会社	鉄道 西武鉄道株式会社 京王電鉄株式会社 大阪市高速電気軌道株式会社 阪急電鉄株式会社 京阪電気鉄道株式会社	製薬・薬局 塩野義製薬株式会社 ウエルシア薬局株式会社 株式会社コクミン 株式会社トモズ 株式会社メディカルシステムネットワーク	官公庁 財務省 神奈川県 東京都品川区 静岡県浜松市 兵庫県明石市
損害保険 東京海上日動火災保険株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 SOMPOホールディングス株式会社 アクサ損害保険株式会社 日本損害保険代理業協会各地域組織	不動産・住宅 三井不動産株式会社 三菱地所株式会社 東急不動産株式会社 大和ハウス工業株式会社 住友林業株式会社	飲料・食品 アサヒビールHD株式会社 サッポロHD株式会社 森永乳業株式会社 ロイヤルHD株式会社 株式会社モスフードサービス	その他 株式会社ファーストリテイリング 株式会社ダスキン セコム株式会社 ヤマト運輸株式会社 鴻池運輸株式会社

ユニバーサルマナー検定の提供形式別の売上割合

eラーニングとオンラインを合わせた売上比率は約6割。階層や職種に合わせ、提供形式を柔軟に対応しつつ、中長期的にはシステムによる納品比率の増加により、さらなる利益率の向上を目指す。



業界別ユニバーサルマナー研修及び検定



① 西武鉄道株式会社

鉄道事業者向けのオリジナル検定を共同開発



③ LIFULL HOME'S

不動産事業者向けのオリジナル検定を共同開発



② ヤマト運輸株式会社

グループ独自のオリジナル検定を共同開発



③ 学校法人ロイヤル学園

美容サロン向けのオリジナル検定を共同開発

ユニバーサルマナーを通じて、多様性理解と行動変容を起こす

コミュニケーションサポートについて

聴覚・言語障害者の方々が社会参加しやすいように、手話や文字通訳等の情報保障サービスを提供。
システムを用いた遠隔での通訳対応に加えて、イベント、会議、研修など、様々な場面への通訳者の派遣も実施。



情報保障の提供

聴覚障害者の53%が企業の情報保障に不満を持っており※、手話や文字による情報保障を提供することで、聴覚障害者の希望と企業対応におけるギャップを解消し、希望に沿った情報保障を提供することが求められる。



● 聴覚障害者の希望する情報保障と企業対応のギャップ

コミュニケーション手段	聴覚障害者の希望	企業の対応
手話通訳	59.3%	27.2%
自動音声認識システム	59.3%	39.5%
文字通訳	39.5%	8.6%
筆談	39.5%	56.8%
口話	23.5%	49.4%

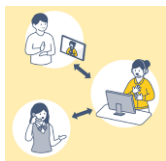
cf.ミライロ「聴覚障害者の職場環境に関するWebアンケート調査結果」令和3年

内容



手話・文字通訳派遣
(導入例)

会議/研修/面接/
イベント等



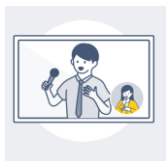
手話リレーサービス
(導入例)

金融機関のコール
センター等



遠隔手話通訳
(導入例)

行政窓口/
医療機関等



動画字幕や手話挿入
(導入例)

研修動画/サービス
紹介動画等



ツールの導入
(導入例)

社内会議/研修/
イベント

要件

目的	聴覚障害者とのコミュニケーション支援
通訳	手話／文字
形式	現地／オンライン
担当	手話通訳者／文字通訳者
備考	音声文字化アプリ等のツール導入支援も可



大阪本社…大阪市淀川区西中島三丁目8番15号
東京支社…東京都品川区東五反田五丁目26番5号

株式会社ミライロでは「障害者」と表記しています。「障がい者」と表記すると、視覚障害のある方が利用する
スクリーン・リーダー(コンピュータの画面読み上げソフトウェア)では「さわりがいしゃ」と読み上げられてしまう場合があります。
「障害は人ではなく環境にある」という考えのもと、表記のみにとらわれず、社会における「障害」と向き合っていくことを目指します。